

1 事業種別	多様な主体の参入促進事業	
2 事業概要	<新規参入施設等のへの巡回支援> 教育・保育施設や地域型保育事業の新規参入施設に対し、事業経験のある者を活用した巡回支援等を行う。 <認定こども園 特別教育・保育経費> 健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもを2人以上受入れる私立認定こども園の設置者に対して、職員の加配に必要な費用の一部を助成する	
3 対象年齢	0歳～5歳（認定こども園 特別教育・保育経費）	
4 本市での実施状況	平成27年度より実施（新規参入施設等のへの巡回支援） 平成29年度新規事業（認定こども園 特別教育・保育経費）	
5 提供区域	14区域（教育・保育事業と同様）	
6 量の見込みの算出方法（計画当初）	事業概要が不明確だったため設定せず。	
7 見直しの考え方  （新規参入施設等の巡回支援）	類型	③事業内容が不明確で計画策定時に「量の見込み」及び「確保方策」の設定をしなかった事業
	量の見込み	各年度の新規参入予定施設数 平成30年度：巡回予定施設 35か所 平成31年度：巡回予定施設 5か所
	確保方策（提供体制）	巡回支援員による全施設への指導・助言の実施 平成30年度：巡回予定施設 35か所 平成31年度：巡回予定施設 5か所
（認定こども園特別教育・保育経費）	類型	③事業内容が不明確で計画策定時に「量の見込み」及び「確保方策」の設定をしなかった事業
	量の見込み	[対象となる子ども及び対象園] ①幼保連携型認定こども園（学校法人立以外）の1号認定児童 ②幼稚園型認定こども園（幼稚園部分が学校法人立）3号認定児童 ③幼稚園型認定こども園（幼稚園部分が学校法人立以外）1～3号認定児童  ①の対象園は3園であるが、1号定員の設定が低く、現在1号認定児童で健康面、発達面において特別な支援が必要とする児童はいない。 ②の対象園は1園であり、現在、対象児童はいない。 ③の対象児は1園であり、現在、対象となる児童は1名 ①～③の対象園の状況から対象児童が2人と推定 「量の見込み」＝補助対象児童2人
	確保方策（提供体制）	対象となる施設に補助する。

<新規参入施設等のへの巡回支援> 「量の見込み」と「確保方策」（見直し案）

（単位：人/年）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	—	—	—	35	5
確保方策	—	—	—	35	5

<認定こども園 特別教育・保育経費> 「量の見込み」と「確保方策」（見直し案）

（単位：人/年）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	—	—	—	2	2
確保方策	—	—	—	2	2